

経営比較分析表（令和4年度決算）

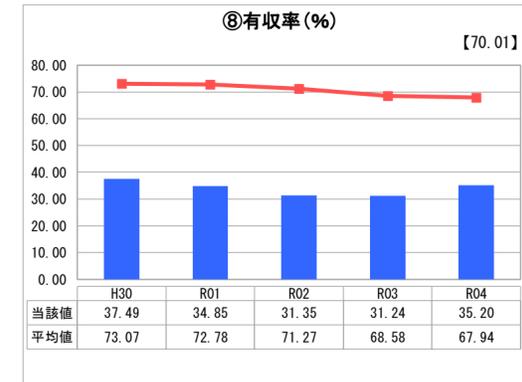
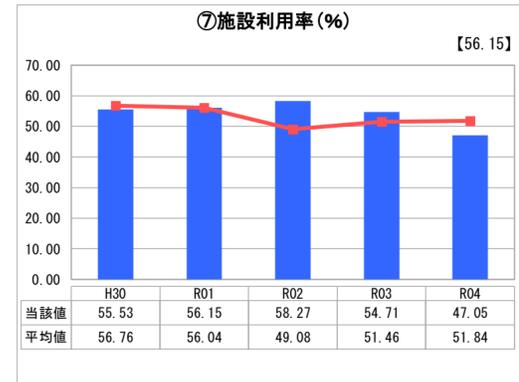
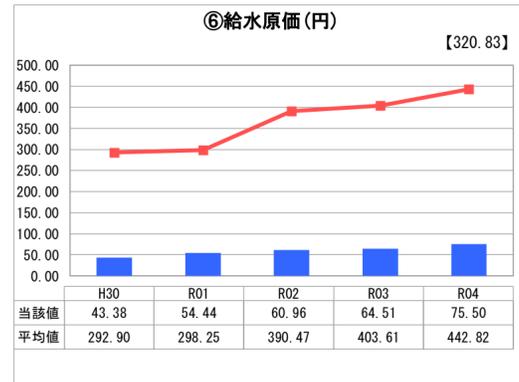
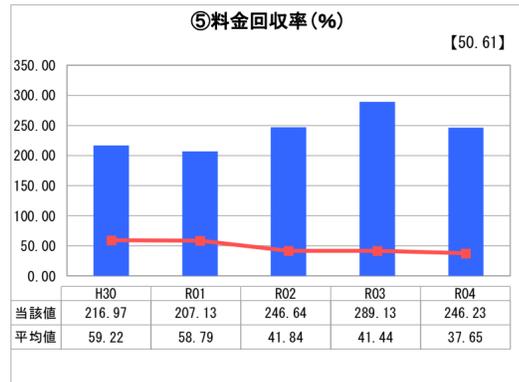
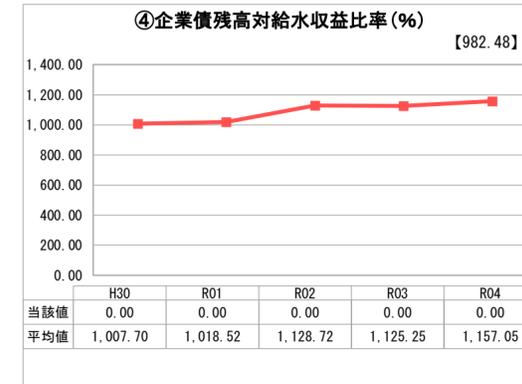
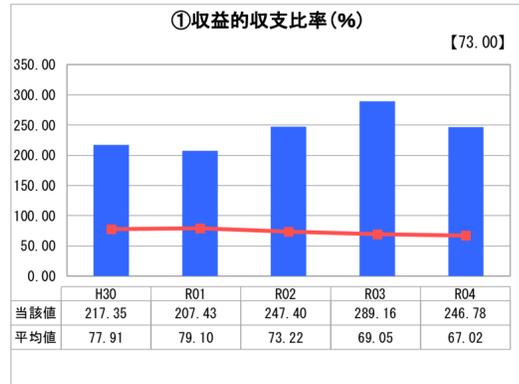
岐阜県 養老町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	7.10	3,185	

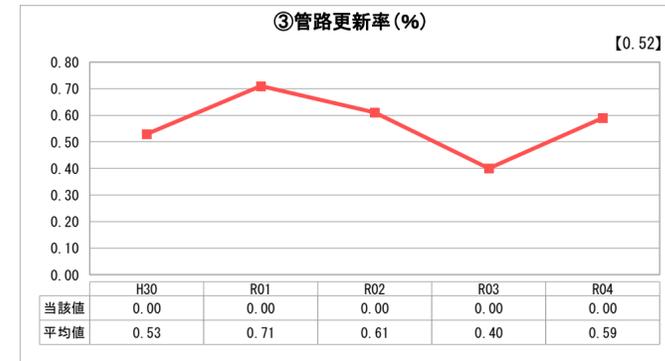
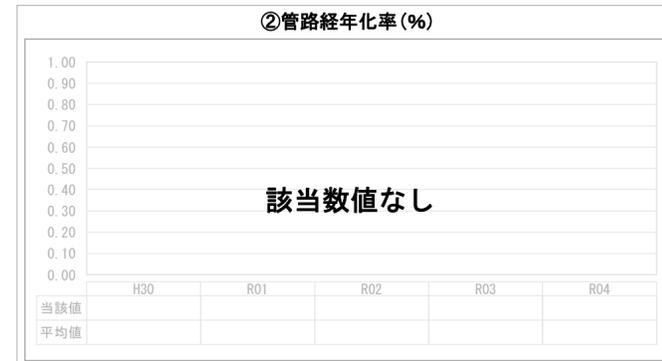
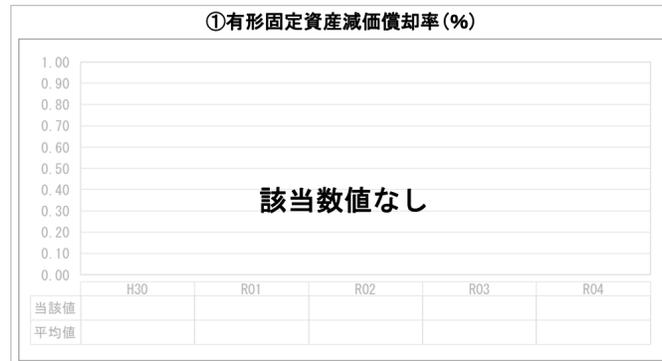
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,858	72.29	371.53
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,894	15.00	126.27

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当町の収益的収支比率は、100%を上回り、黒字を示していますが、これは令和元年度に料金改定を行ったことや施設、埋設管等の修繕が少なく支出が抑えられたことによるものと考えられます。料金回収率は、100%を上回っており、給水に係る費用は全て料金収入によって賄われていることから、経営は健全であるといえます。給水原価は、類似団体より低い数値を示していますが、これは豊富な地下水を利用していることから相対的に低くなっているものと考えられます。しかし、給水原価は年々増加傾向にあり、有収率の低下による費用の増大が要因であると考えられます。有収率の低下については、埋設管等の漏水などによる無効水量が原因と考えられ、有収率の低下を防ぐためにも漏水の早期発見、修繕に努めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

施設等の老朽化が進んでいますが、令和元年度から令和5年度にかけて簡易水道から上水道への廃止統合事業を行っており、令和6年度末には宅内の切替工事が完了する計画であることから、施設等の更新工事や大規模な改修工事を行う予定はありません。そのため、上水道への移行が完了するまでは、安定的に水を供給できるよう、施設や埋設管等の定期的な点検や修繕を行い、適切な維持管理に努めていきます。

全体総括

前年度に引き続き経営状況は安定していますが、施設や埋設管等の老朽化に伴う漏水等により有収率が低下傾向にあります。しかし、令和6年4月より上水道へ移行することから、施設や埋設管の更新工事を行う予定はありません。今後は、漏水箇所の修繕に努め、有収率の向上を図っていきます。